

市民ふれあいトーク

結果報告

市政への意見や要望、まちづくりへの提言などについて、市民の皆さんと市長が、各校区で意見交換を行う「市民ふれあいトーク」。今年度は、昨年九月から十一月にかけて市内十六校区で開催し、延べ四百九十六人の参加をいただきました。そこで出された多くの提言の中から、その一部と回答、参加者の声を紹介します。

まちづくり

Q 新幹線新駅周辺は、まず幹線道路を造って企業誘致を考えないといけない。新八代駅から千丁までの南北に続く道路整備については聞いたが、東西にも延ばす道路が必要ではないか。

A 南北方向の道路については、県道新八代停車場線として、県が測量などに着手している。また、新幹線新駅周辺に関しては、まちづくり交付金の補助制度を活用して、本市において道路や公園を整備していきたいと考えている。東西方向の道路などの新たな路線計画については、広域的な役割も含め、今後も引き続き、県や周辺町村と協議を行っていきたい。

Q 日奈久にあるJA倉庫を市が取得するということが喜んでいる。日奈久には、歴史的に古いものが残っている。これからは本物の時代だと言われているので、旅館「おりや」やレンガ倉庫などを生かし、日奈久を観光の拠点として取り組んで欲しい。



教育

Q 昨年、学校と地域開放の話があったが、(大阪府の)池田小学校の事件もあり、閉鎖的になってきているようである。実際はどうなのか。

A 地域への学校開放は、地域のみならずから学校にいろいろな意見をいただく評議員制度を導入している。また、物的な面では、体育館やナイター設備などの開放を行うほかに、学校を改築する場合は、地域開放スペースを設置し、開放を進めている。学校が閉鎖的に感じるようになったということなので、校長会などにも話をし、地域に開かれた学校だという姿勢を示していきたい。

産業

Q 企業誘致について、全国から中小企業を見つけて八代に定着させる必要があると思うが、市としての考えはどうか。

Q 二見自然の森ができたが、周辺に史跡があるらしいので、それらを活用した対策を考えてはどうか。
A 史跡などがあれば、活用する方法もあると思う。今後も研究していきたい。

植柳公民館でのふれあいトークの様子



A 「おりや」を含めたJA倉庫周辺の整備については、地元の見聞も聞きながら、活性化検討委員会で検討していきたい。ただし、JA倉庫を文化財として、そのまま保存することは、技術的に非常に難しいので、その生かし方についても検討していきたい。

Q 大型店の出店で、周辺の道路の渋滞が予想される。場所によっては、道幅が狭く離合が難しい。事故防止のため、交通規制をするなど、安全対策をとって欲しい。
A 交差点などの渋滞は、警察と十分協議し、対策を取ることとしている。道路改良などは、出店後の状況を見てから検討させて欲しい。

Q 昨年のふれあいトークでも出たが、ニュー加賀島地区に大人と子どもが一日遊べる公園整備を要望しているが、その後、どうなっているのかを聞きたい。
A 平成十七年から始める港湾計画の中で、市民が憩える親水的な公園をニュー加賀島に整備できるよう要望している。しかし、県の財政が厳しいので、港湾計画改訂が遅れている。港湾計画の策定を早急に進めるように要望していきたい。

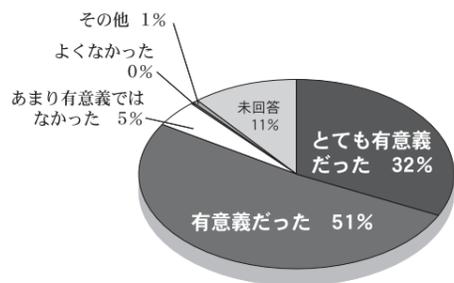
環境

A 企業誘致については、ヤマハやYKKなどの工場で生産の強化が図られており、下請業者の誘致が高まる可能性がある。また、昨年は、エコポイント構想について検討したところであり、受け皿づくりを行いながら、企業誘致を進めていきたい。

Q 河川の水質が悪いのは、家庭排水が原因と思う。都市部は下水道ができているが、農村部はまだだである。八代郡の町村では、合併浄化槽を整備しているようだが、市ではどうか。
A 下水道は、計画区域を設定して整備しているが、下水道普及率は、まだ三〇%ほどである。そのため、公共下水道の認可区域以外の地域では、合併浄化槽設置に補助を行っている。今後は、市が浄化槽を整備し、維持管理も行う市町村型合併浄化槽事業を拡大していきたい。

Q 菊陽町のゴミ袋は、一枚三十円で三種類あり、資源物も入られるうえ、入れる品名も袋に書いてある。大変便利だと思えるので、市でもぜひ参考にしたい。
A ごみの減量化を目標に、市民を含めたワーキンググループで、ごみの有料化と資源化を始めている。ごみを二十に分別して資源回収したり、ごみ袋に応分の負担をしてもらうことで、ごみの減量を推進している趣旨を理解して欲しい。

参加者の声・アンケート結果



Q) ふれあいトークの感想は?

直接、話し合いながらの進行なので、内容をしっかりと把握できるし、分からない所は、聞くことができる。今後も続けて欲しい。
最近、市役所の風通しが以前と違って大変良かった感じがする。市長の考え方を聞くだけでも参考にでき、それが将来の市の発展に繋がると思う。
参加者はあまり多くなかったが、市長の話の中で、

大変夢のある将来の見通しを聞いて、八代も希望があると思った。一つ一つを前向きに進めて、明るい八代づくりに頑張っていければと考えている。一步一步踏みしめながら、明るい希望のある新市ができることを楽しみにしている。
地域住民の前向きな意見に対して、市の方の回答や意見に前進が認められない。ビジョンは少しだけ見えるようだが、校区にとつての大切な問題がひとつも解決しない。
開催は必要だと思うが、参加者が少ない。その原因の把握と対応が必要。また、陳情の場になりがちなので、自由な意見交換の場や今後の地域づくりの場として活用できるような工夫があれば良い。

市では、皆さんからの貴重なご意見を、今後の施策にできる限り反映していけるよう努めていきます。

内容の詳細は、市役所一階「情報プラザ」に設置のファイルや市のホームページに掲載します。
問合せ 企画調整課広報聴室

334101